土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　　査　　名　玖波五丁目２地区　急傾斜地崩壊対策事業　詳細設計業務委託

事　業　・　工　事　名

調査目的及び調査対象　砂防　構造物基礎

ボーリング名	Bor.No.1	調査位置	広島県大竹市玖波五丁目	北緯	34° 15’ 27.4006″
発注機関	広島県西部建設事務所 廿日市支所	調査期間	令和5年 2月 3日～ 令和5年 2月 6日	東経	132° 13’ 22.3056″
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 41.76m	角度	180° 上 90 下 0°	方向	北 0° 270° 90° 西 東 180° 南
総削孔長	7.00m	地盤勾配	41° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：D-0B（東邦地下工機） エンジン：NFAD-8K（ヤンマー）　ポンプ：BG-3B（東邦地下工機）

標尺（m）	標高（m）	深度（m）	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日
	41.66	0.10		砂質土		暗褐			表土。草根が多く混入する。	
	41.51	0.25		強風化花崗岩		褐			岩芯まで風化が進み、細砂状で採取する。 DL級岩盤。	
	41.11	0.65		強風化花崗岩		黄褐			岩芯まで風化が進み、砂状～礫状で採取する。 指圧で粉末状になる。 DM級岩盤。	
1				風化花崗岩		淡褐			コア形状を残して採取するが、ハンマーの軽打で容易に砕け礫状になる。 亀裂が多く、コア肌は粗い。 ハンマー打で濁音を発する。 GL-4m付近にやや硬質な箇所が20cm程度有り。 CL級岩盤。	
2										
3										
4										
5										
6										
7	34.76	7.00								
8										
9										
10										
11										
12										

標準貫入試験

深度―N値図（0 10 20 30 40 50 60）	N値	深度（m）	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
	50以上	1.00	50			50	10	
		1.01	10			10		
	50以上	2.00	貫入不能			50	0	
						0		

試料採取 深度（m）	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
				2/3
				2/6